すべての都立高校と都立高生のために。

東京都公立高等学校 PTA 連合会　会長　南村和良

我々自身が育つこと

私たち都高Ｐ連は、昨年の全Ｐ連・東京大会で宣言した『子育ての目的は、子どもたちの精神的社会的自立にある。子育ては親育て。まずは我々自身が育つこと』という理念を本年度も引き継いで活動を続けていきます。我々自身が育つこと。保護者あるいは親としての私たち自身が育つ（成長する）とは、いったいどのようなことなのでしょうか。

学校で元気に学び、部活に打ち込む多くの子どもたちの姿を見ることや、さまざまな悩みや希望を持つ保護者、学校現場で子どもたちと真剣に向き合う教職員との交流を通し、「我が子」だけではなく、我が子を含めた子どもたちを一層いとおしく感じるようになったと語る PTA 経験者はたくさんいます。

自子中心主義でない愛情を育む（育まれる）ことで、親同士の共助や連携の精神を生み、そこから家庭や学校における育成環境の改善や発展の大きな原動力につなげる、これは紛れもなく私たちの成長そのものであるということができるでしょう。成長とは、他者と出会い、他者に敬意を払い、他者と合意し、他者との連携で力を高めていくことにほかなりません。本物の自立とは、その言葉とは裏腹の「共立」を明確に意識し始めたときに、その萌芽を宿します。

原点から見つめる

しかしながら、その原点を共有できなくなれば、組織は硬直化し、活動のダイナミズムを失っていきます。平成 10 年代後期の都高 P 連は、まさに深刻な状況でした。そして都高 P 連の信用を大きく失墜させ、関係諸団体に多大な迷惑をかけた事務局員の不正会計事件では、絶望した多くの単位 PTA が退会していきました。存在意義さえ問われかねない厳しい状況の中、残された仲間たちによって信頼回復と再生への取り組みをスタートしました。この間、少ない資金に苦しみながら自分たちの手作りによって全国大会を何とか成功させ、そして現在に至っています。

《原点から見つめる　子どもたちと私たち》。これが平成 23 年度のスローガンです。この 20 年間の日本社会ならびに育成環境の変化はあまりにも劇的でした。「競争優位」や「成果主義」、「自己責任」といった価値観が社会を覆う中で、「支え合い」や「助け合い」、「弱者へのいたわり」といった社会連帯の意思は大きく後退しました。

そんな際どい状況下で、私たち都高Ｐ連も自問せざるを得ません。すべての子どもたちの現在と未来に対し、よりよい育成環境づくりをめざすという堅守すべき理念に揺らぎはないか…。相互支援のネットワークづくりを強化するという姿勢に緩みはないか…。相手を信じ、意を尽くし情理を尽くして語り合うことの大切さを見失っていないか…。原点からの見つめ直しです。

理想を手放さない

翻って現在の子どもたちの状況を見ると、そこには困難な課題がいくつも顕在化していることがわかります。厳しい競争環境の中で心身の不調を訴える子ども、学校に行けない子ども、激務のあまり心身を患う教職員。さらに所得格差と低所得層の拡大により、アルバイトに追われて学業に専念できない高校生、進学を断念せざるを得ない高校生も少なからずいます。そして 3.11 の東日本大震災で親や家を失った子どもたち。

ご存じのように、PTA は限られた時間の中で限られた活動量しか確保することができません。お金もありません。しかし、子どもたちは現在進行形で育ち、未来は現実として確実にやってきます。子どもたちの現在と未来を少しでも幸福なものにするため、私たち都高Ｐ連は、さまざまな課題の克服を含む理想の育成環境づくりをめざします。ときには理想と現実の折り合いをつけながら、それでも理想を手放さず、亀のようにのろく蟻のように小さな一歩でも、着実に前進を続けていきたいと考えています。

未加盟校 PTA の皆さまへ。都高Ｐ連に知恵と力をお寄せください。

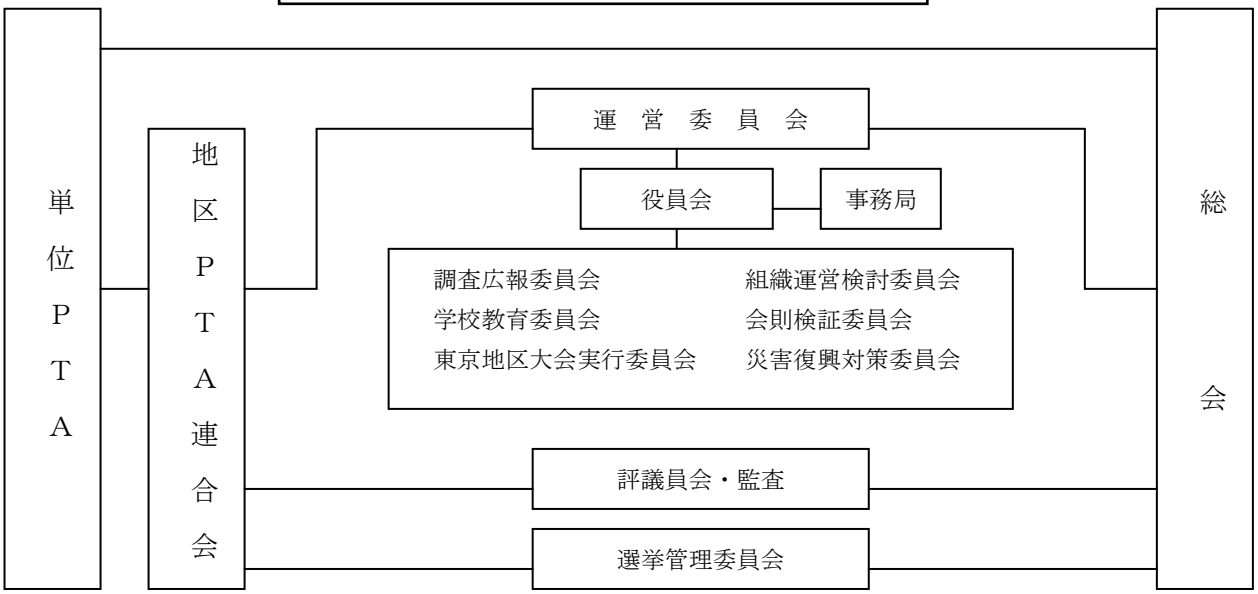
加盟校一同、心よりお待ちしております。

都高Ｐ連　活動内容（陳情事例）

都高Ｐ連は、加盟単位 PTA 間の相互啓発活動を進めるとともに、常に全都立高校の教育環境向上の目標を掲げ、関係諸団体との連絡連携を密にしながら、都議会への陳情、行政への要望提出など活発な活動を展開しています。平成 21 年度都議会で下記 4 件の陳情が採択され、現在、早期の予算処置が実施されるよう強力に働きかけを進めています。

①都立高等学校におけるＣＯ2 削減…校舎屋上の緑地化と太陽光発電の導入を要望
②都立高等学校の校庭緑地化…校庭の芝生化やグリーンカーテンの実施を要望
③都立高等学校の学校設備・備品に関する予算の確保と適切な実施
　…パソコンの OS・ソフト等の適正な更新を要望
④都立高等学校のスクールカウンセラー配置…スクールカウンセラーの全校配置を要望

都高Ｐ連　組織図



※都高Ｐ連は、高等学校ＰＴＡの全国組織である（社）全国高等学校ＰＴＡ連合会に加盟しています。

都高P連　加盟校一覧（97 校：会員総数 6 万 8,358 人）

●西部南地区…南多摩、富士森、片倉、八王子東、八王子北、松が谷、日野、日野台、南平、町田、野津田、成瀬、小川、山崎、町田工業、翔陽、立川、北多摩、昭和、調布南、府中、府中東、府中西、農業、国立、永山／**●西部北地区**…拝島、東大和、東大和南、武蔵村山、福生、多摩工業、秋留台、羽村、五日市、武蔵野北、小金井北、田無、田無工業、保谷、久留米西、小平、小平西、小平南、東村山、東村山西、国分寺、清瀬、多摩／**●中部南地区**…駒場、目黒、深沢、園芸、富士、西、杉並、三鷹、神代、調布北、狛江／**●中部北地区**…鷺宮、武蔵丘、農芸、井草、大泉、王子総合、田柄、練馬工業、豊島、文京、飛鳥、北園、板橋、大山／**●東部北地区**…竹早、向丘、小石川、工芸、上野、蔵前工業、竹台、荒川工業、足立、江北、淵江、足立西、足立東、青井、足立工業／**●東部南地区**…蒲田、美原／**●島嶼地区**…大島、新島、神津、三宅、八丈、大島海洋国際

お問い合わせ

東京都公立高等学校 PTA 連合会　事務局
〒167-0052　東京都杉並区南荻窪 4－29－10　田丸ビル 205 号
TEL 03-5941-5067　FAX 03-5941-5068
e-mail: jimukyoku@tokoupren.org　URL http://www.tokoupren.org/